

○ 令和4年5月19日開催
第110回近畿ブロック知事会議における西脇知事の発言

1. 国への提案要望

○「新型コロナ等の影響を受ける中小事業者の資金繰り支援」〔滋賀県、京都府提案〕

(京都府 西脇知事)

- ・ 補足して説明させていただきます。京都府の状況でございますが、府の制度融資残高は1兆1,067億円で、その内コロナ対応資金が7,652億円ということで、非常に多額になっております。
- ・ 課題の中には、円安、ウクライナ情勢とありますが、ここに来て、部品不足、それから金属材料不足、特に上海のロックアウトの影響が非常に大きいという話もありまして、受注はあるけど、製品ができないという状況です。当初はコロナ対応ということで、コロナが回復すればということだったのですが、現下の経済情勢の不透明感から非常に不安が広がっております。
- ・ 返済につきまして、開始時期のピークは、年度で言えば令和5年度、月で言えば令和6年4月から開始のピークを迎えるということで、是非とも国の支援をお願いしたい。提案内容について若干詳しく申し上げますと、事業者が既存の今の資金を条件変更した場合に発生する追加の信用保証料につきまして国の補助をお願いしたい。また15年を超えるような、超長期での借り換えが可能な、低利での全国統一的な融資制度を、是非とも国において創設していただくとともに、同一金融機関内で、コロナ対応資金の借り換えを可能として、なおかつ、借り換え時にかかる信用保証料を免除するような、新しい制度構築を是非ともお願いしたいと思っています。
- ・ なお、京都府も本年3月に同様の趣旨のものを国に要望しておりますが、是非とも近畿ブロック知事会としても要望していただき、強く後押しをいただければありがたいと思います。

○「北陸新幹線の早期全線開業」〔福井県、京都府、大阪府提案〕

(京都府 西脇知事)

- ・ 法律に基づくアセスメントでは地元調整がなかなか難しいところもあったのですが、現在はアセスメントの調整も全体的に入れるようになっておりますので、私どもとしては、丁寧な説明、慎重な調査をお願いしております。引き続きそういう形で進めていくということで、慎重な調査と十分な地元説明を実施していただくようお願いしているところです。
- ・ また、先の話になりますが、地元負担につきましては、受益に応じた負担となるよう、お願いしているところです。いずれにしましても、国家的プロジェクトでありますので、全線開業に向けては、引き続き協力をしてまいりたいと思います。

2. 記者会見

(記者)

- ・ 西脇知事に質問します。ローカル線の収支の関係で、京都府内では関西本線と小浜線については、それぞれ三重県と福井県に跨がるということで、今後どのような方向で、各県と協議していくのか。

(京都府 西脇知事)

- ・ 私が国土交通省の総合政策局長として地域公共交通活性化再生法に携わっていた当時と全く変わっていないのですが、これからの超少子高齢化の社会で、公共交通は単なる移動手段ではなくて、生活全般を支えているものなので、その確保が絶対に必要だというのが基本的な立場です。
- ・ もう1つは、国鉄の民営化の時の議論として、採算の悪い路線も良い路線も合わせた形での民営化の枠組みをつくったという原点に立てば、鉄道会社の収支だけでなく、地域の実情も合わせて議論をしていくべきなので、その路線の採算が悪いというだけで、廃止・減便という話ではなくて、地域の住民を代表する地方公共団体と鉄道会社・交通事業者がきちんと話し合い、最終的には地域住民の方にとってどういう形が一番いいのかという形で議論をしていくべきだと思っています。
- ・ 単独の府県でやるよりも、近畿ブロック、場合によっては全国レベルで枠組を作っていくといった方向で議論すべきだと考えています。

(記者)

- ・ 京都府の西脇知事、大阪府の吉村知事に伺います。北陸新幹線の早期全線開業について、改めて関西圏から線路を引っ張ることに対する意欲を聞かせてください。

(京都府 西脇知事)

- ・ 元々、北陸新幹線は大規模災害のリダンダンシーもありますし、日本海国土軸を形成するというところで、国家的プロジェクトだからこそ、早期の全線整備についての要望を共にしているわけです。
- ・ ただ、今アセスメントもやっていますが、京都府内には施工上の課題が様々あります。そういう意味からも、できるだけ関係市町村と一緒に協力をさせていただいておりますが、まずは、現在進めている環境アセスメントについての慎重な調査と十分な地元説明をお願いしたい。その上で、受益に応じた負担になるようお願いしたい。そういったことにつきましては、引き続き国に対して強く要望してまいりたい。